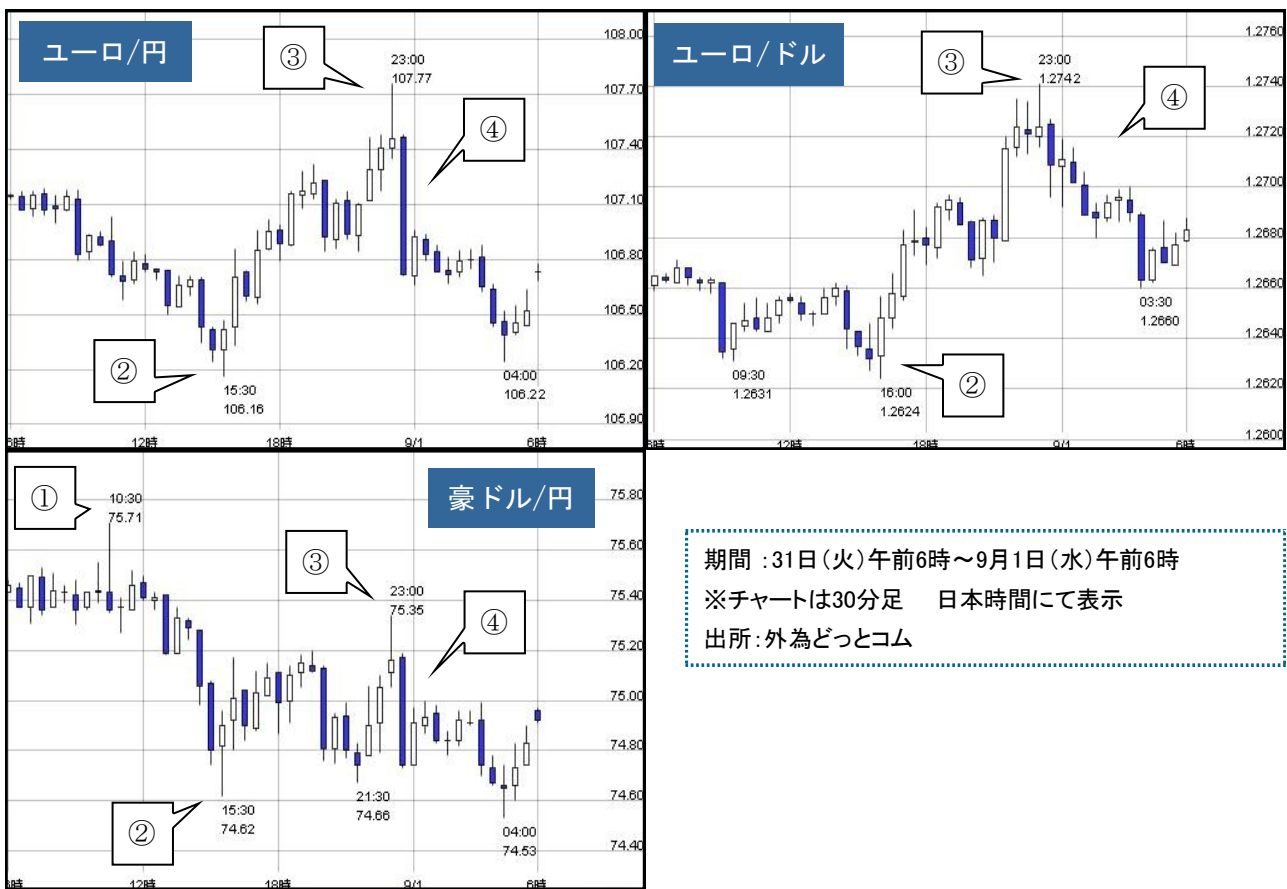


9月1日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

米雇用統計の前哨戦に注目が集まる

31日(火)の主な推移



期間 : 31日(火)午前6時～9月1日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所 : 外為どっとコム

- ① 豪7月小売売上高は前月比+0.7%と予想(+0.4%)を上回る結果となり、豪ドル/円は75.71円まで上昇した。また豪7月住宅建設許可が前月比+2.3%と予想を上回り、豪第2四半期経常収支も56.4億豪ドルの赤字と予想よりも赤字幅が縮小したことも、豪ドル買いの支援材料となった模様である。
- ② 日経平均株価が一時300円超下落し、リスク回避の動きが強まり円高が進行する中、池田財務副大臣が「為替介入をした場合、日銀には非不胎化をしっかりとやってもらいたい」と発言。市場では介入に対する警戒感が高まり、ユーロ/円は安値106.16円から、豪ドル/円も74.62円から、それぞれ反発した。またユーロ/ドルは欧州株や時間外のNYダウ平均先物の下落を受け、1.2624ドルまで下落した。
- ③ 米8月消費者信頼感指数は53.5と予想(50.7)を上回り、米株高に伴いリスクに積極的となる機運が高まると、ユーロ/円は107.77円、ユーロ/ドルは1.2742ドル、豪ドル/円は75.35円までそれぞれ上昇した。
- ④ 24時のロンドンフィキシングに向けてまとまった円買い・ドル売りが出たことにより、クロス円は反落。その後は米株の軟調推移も加わり、クロス円やユーロドルは弱含む展開が続いた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2590-1.2780ドル
 ユーロ/円: 105.50-107.70円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 73.80-75.70円

本日米国では、3日発表の米8月雇用統計の前哨戦となる米8月ADP雇用者数の他、米8月ISM製造業景況指数の発表が予定されている。昨日のユーロはリスク回避の局面では売られ、反対にリスクを積極的に取る場面では買われており、本日も一連の経済指標が雇用統計に期待が持てる結果となればユーロは買われる展開が予想される。しかし予想を下回った場合、市場予想が前回発表よりも低く、期待値が低いだけに、リスク回避の動きが強まりユーロが売られる場面もありそうだ。(川畑)

本日、豪第2四半期国内総生産(GDP)の発表が予定されている。今回の市場予想では前回よりも強気な見通しとなっている。もし予想を上回った場合には豪ドルの上昇が予想される。だが悪化が伝えられた場合、米経済の減速懸念によるリスク回避の動きや、昨日の豪7月小売売上高の上昇により浮上した利上げ観測が後退することにより、下落圧力が強まりそうである。

そのほか3日の米8月雇用統計の前哨戦として、米8月のADP雇用者数やISM製造業景況指数にも注目が集まっている。主要国の株価と共にこれらの経済指標の結果にも注目したい。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
9/1(水)	10:30	○	(豪) 第2四半期GDP [前期比]	+0.5%	+0.9%
	10:30	○	(豪) 第2四半期GDP [前年比]	+2.7%	+2.8%
	21:15	○	(米) 8月ADP雇用者数	+4.2万人	+1.5万人
	23:00	○	(米) 8月ISM製造業景況指数	55.5	52.7

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com